

平成 29 年度第 2 回安全パトロール報告 安全技術教育委員会

ブランク作業、6つの最低条件

- 保護帽の着用
- 安全帯の装着・使用
- 清掃用具の落下阻止の措置
- 立入禁止区域の確保
- ライフラインの設置
- 墜落阻止器具の使用

実施日 パトロール地域 実施スタッフ

東京労働局
G C A
安全技術教育委員会
広報委員会

平成 29 年 9 月 21 日 (木) : 晴
都内全域

今井産業安全専門官
佐元専務理事
大山安全技術教育委員長
中原広報副委員長

パトロール内容

ブランク作業: 3 件 (会員 1 件・一般 2 件)

① 保護帽の着用状況

◇ 墜落時保護用○ 3 件

② 安全帯の装着・使用状況

◇ 垂直面用○ 1 件
◇ 垂直面用フック付不可で×1 件
◇ フルハート型○ 1 件

③ 清掃用具落下阻止措置

◇ すべてあり○ 3 件

④ 立入禁止区域確保状況

◇ 区画確保○ 3 件

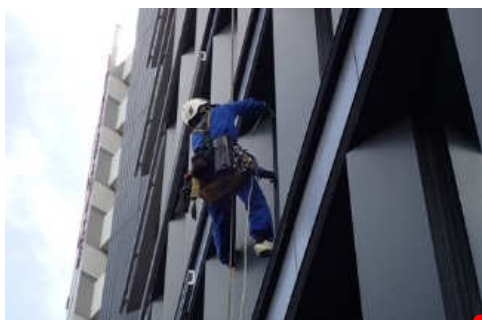
⑤ ライフライン設置状況

◇ あり地上まで達する○ 2 件
◇ なし×ツインロープ方式 1 件

⑥ 墜落阻止器具使用状況

◇ モバイルフォールアレスター○ 1 件
◇ グリップ・スライド切替○1 件
◇ なし× 1 件

【今回の安全パトロール、ベストショット!】



ケース 1 のブランク作業



指導熱心な、今井産業安全専門官 (右) と大山安全技術教育委員長 (左)





調査票記載に余念がない佐元専務理事 (右) と他のメンバー



事務局に戻り、意見交換会にて『安パト写真撮影は、俺に任せろ!』と次回に向けての気概を熱く語る中原広報副委員長 (左奥)

【ケース 1】 ブランコ作業*特別教育修了（千代田区岩本町／経験 27 年／一般）

	
<p>ロープ高所作業特別教育の修了証、作業中も携行しており、○。</p>	<p>墜落阻止器具は、海外製フルハーネスの胸部 D 環と連結したペツル社製アサップロック。ランヤードもショックアブソーバ使用で、○。接続器具（下降器）は、同社製リグ。</p>
	
<p>メインロープとライフラインの結び目は、ラビットノット。支柱を吊元とし、荷重分散を施した好事例。</p>	<p>作業者の動線。パラペットとガラスフェンスの幅は約 50 cm。屋上床面とパラペット高さは約 40 cm。ロープ移設時の墜落防止措置がない。指導事項、参照。</p>
<p>保護帽の着用</p>	<p>良好：墜落時保護用を使用</p>
<p>安全帯の装着</p>	<p>良好：フルハーネス型安全帯を使用</p>
<p>清掃用具の落下阻止の措置</p>	<p>良好：それぞれの清掃用具にカールコードで OK</p>
<p>立入禁止区域の確保</p>	<p>良好：地上監視員を配備し、カラーコーンとトラロープで区画</p>
<p>ライフラインの設置</p>	<p>良好：地上まで達する</p>
<p>墜落阻止器具の使用</p>	<p>良好：モバイルフォールアレスターを使用</p>

GCA 安全パトロール指導員の指導事項

作業責任者は一人親方。以前は GCA 会員会社に所属し、数年前の安パトでも会ったことがあり、ガラスクリーニング選手権大会にもエントリーしているお馴染みのイケメン。今回は、地上監視員を除く一人親方他 2 名との合同作業。

指導事項は、1 点。右下写真のように、ロープを移設（盛り替え）時の作業者の墜落防止措置。パラペットの高さがひざ位置にあり、転倒した場合、地上まで墜落してしまう恐れがある。よって、作業員の動線に墜落防止措置の水平親綱を設置、安全帯のランヤードのフックを常時連結した安全帯の使用を指導した。その事例は、本誌、Vol. 437、8 月号 6 頁～8 頁、参照。

他は、問題なし。

これ以上の閲覧をご希望の方は
こちらからご購入ください。